

2026年6月期 第1四半期 決算説明資料



2026年6月期 第1四半期 決算のポイント-1

売上高は36,058百万円 <前年同期比 **+15.6%**> 需要拡大などにより、メディカル事業・デバイス事業 共に好調に推移

■メディカル事業 ~循環器・非循環器 共に好調に推移~

● 循環器領域 : PCIガイドワイヤーを中心に、海外地域にて増加、

代理店受注の前倒し影響により欧州地域が好調だが、当前倒し影響を除いても全体的に好調

● 非循環器領域:中国市場を除き、末梢・腹部・脳・消化器など全領域が増加

OEM取引 : 米国の開発受託取引が増加

■デバイス事業 ~医療部材・産業部材 共に増加~

● ニッタモールド社の連結子会社化により、医療部材・産業部材 共に増加

医療部材:米国向け循環器系検査用カテーテル部材の取引が増加

● 産業部材:海外レジャー関連取引が増加

□ 為替動向(円安)による売上高増加影響は軽微(+53百万円)

為替 (単位: 円)	US\$	EURO	中国元	ВАНТ
26/6期1Q	147.45	172.28	20.60	4.56
25/6期1Q	149.63	164.22	20.84	4.29



2026年6月期 第1四半期 決算のポイント-2

営業利益 13,035百万円 <前年同期比 +34.0%> 売上高の増加や、売上総利益率の改善が想定以上に進み、営業利益は大幅増益

- 売上総利益は25,436百万円 <前年同期比 +18.1% >
 - 売上高の増加や生産性改善に伴う売上総利益率(69.0%→70.5%)の上昇により、売上総利益が増加
 - 米国関税の影響は、米国子会社における安全在庫による対応により、インパクト僅少(215百万円)
- 営業利益は13,035百万円 <前年同期比 +34.0% >
 - 販売費及び一般管理費は、全体として抑え目な費用投下(前年同期比 +597百万円、増加率 +5.1%)
 - 販促活動強化に伴い、米国を中心として営業関係費用が増加
 - 研究開発費(2,967百万円)の増加(前年同期比 +207百万円、売上高比率 8.2%)
 - のれん償却額等の減少(前年同期比 △388百万円)
- 経常利益は12,887百万円 <前年同期比 +47.0% >
 - 営業外費用:為替差損の減少(前年同期比 △742百万円)
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は9,205百万円 <前年同期比 +35.7% >
 - 特別利益:貸倒引当金戻入額の減少(前年同期比 △100百万円)



決算ハイライト 前年同期比

	2025年6月期	期 1Q実績		2026年6月	期 1Q実績		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比		
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	
売上高	31,184	100.0	36,058	100.0	+4,874	+15.6	
売上総利益	21,529	69.0	25,436	70.5	+3,906	+18.1	
営業利益	9,726	31.2	13,035	36.2	+3,309	+34.0	
経常利益	8,767	28.1	12,887	35.7	+4,119	+47.0	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,784	21.8	9,205	25.5	+2,420	+35.7	
EPS (円)	24.98	_	34.37	_	+9.39	+37.6	

(ご参考) 前期と同条件の為替レート時									
♣☆☆百	構成比	前年同期比							
金額 (百万円)	伸成儿 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)						
36,004	100.0	+4,820	+15.5						
25,577	71.0	+4,047	+18.8						
13,216	36.7	+3,489	+35.9						

※:未実現利益に係る為替影響以外の 為替影響を調整した場合の売上総利益率

為替(単位:円)	US\$	EURO	中国元	BAHT
26/6期1Q	147.45	172.28	20.60	4.56
25/6期1Q	149.63	164.22	20.84	4.29



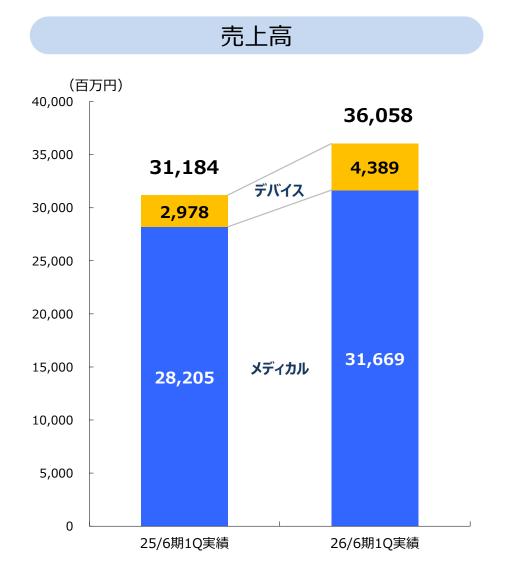
セグメント別売上高 前年同期比

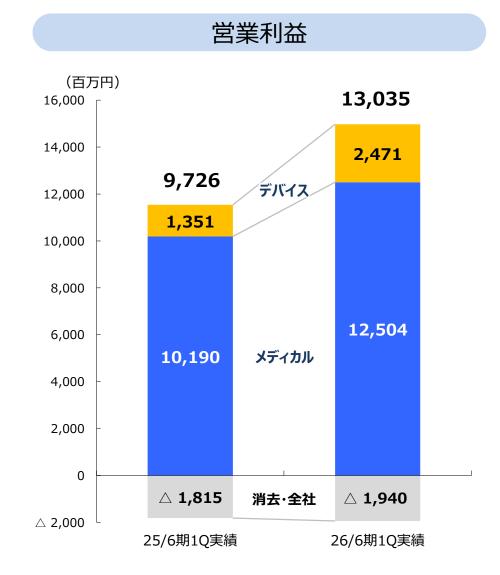
	2025年6月期	2025年6月期 1Q実績		2026年6月期 1Q実績				
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)		
メディカル事業	28,205	90.4	31,669	87.8	+3,463	+12.3		
デバイス事業	2,978	9.6	4,389	12.2	+1,410	+47.4		
合計	31,184	100.0	36,058	100.0	+4,874	+15.6		

(参考)

医療機器分野	30,146	96.7	34,454	95.6	+4,307	+14.3
産業機器分野	1,037	3.3	1,603	4.4	+566	+54.6

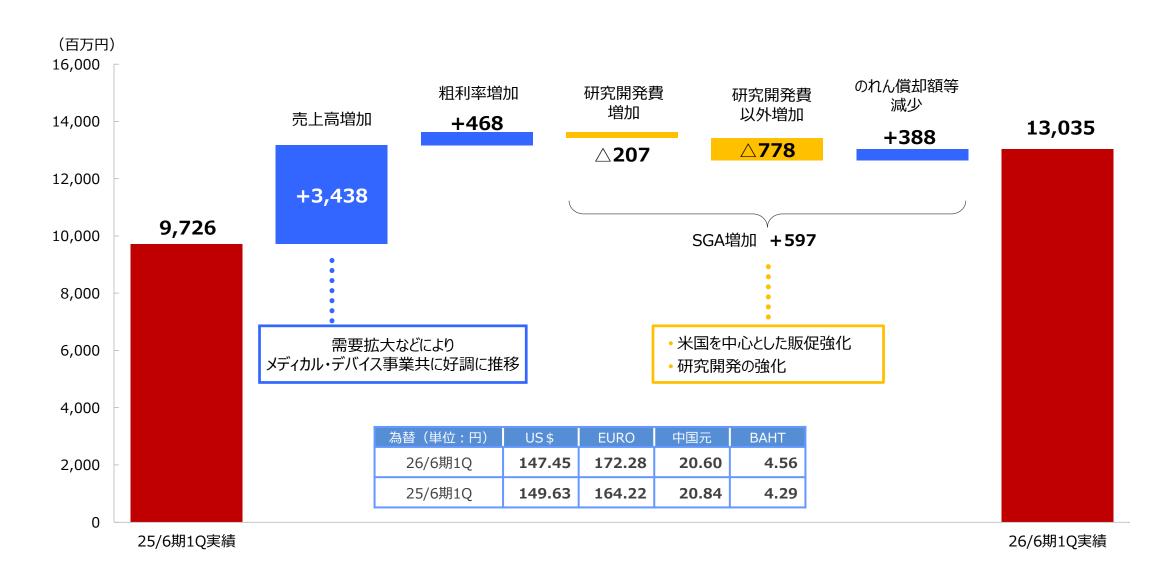
セグメント別の収益状況



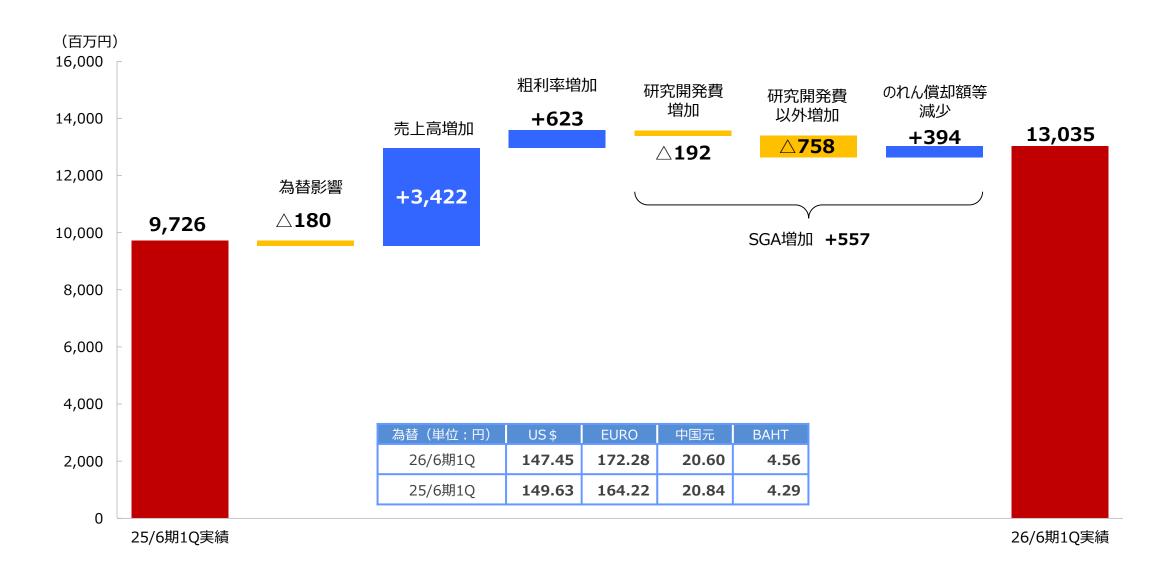




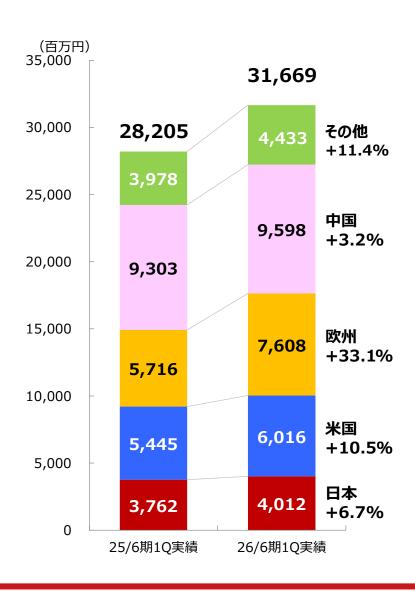
営業利益 前年同期比 増減要因分析-1 (為替の影響を含む)



営業利益 前年同期比 増減要因分析-2 (為替の影響を除く)



メディカル事業の状況(地域別-1)



【売上高(前年同期比)】

~全地域にて増加、代理店の受注動向の影響あるも、全体を通じて堅調に推移~

■日本:非循環器領域が増加

• 循環器領域 : 貫通カテーテルが増加したものの、検査用製品が減少*し、横ばいに推移

非循環器領域 : 末梢血管系仕入製品(ペナンブラ社)が好調に推移

■ 海外:全地域において増加、欧州代理店取引の前倒し影響を除いても、全体として堅調

● 米国:ブランド・OEMともに堅調に推移

• 循環器領域 : PCIガイドワイヤー・貫通カテーテルが増加

• 非循環器領域:腹部・末梢血管系製品を中心に増加

·OEM取引:開発受託取引が増加

欧州:代理店取引が前倒しなどにより増加、直販地域も堅調に推移

•循環器領域 : PCIガイドワイヤー・貫通カテーテルが増加 代理店の要望により1Q出荷が増加

直販地域は堅調に推移、ガイディングカテーテルの減少*

非循環器領域:末梢・腹部血管系製品が増加

● 中国:販売網変更に伴う在庫補充(前倒し)が前期・当期共にあり、当影響を除外しても堅調に推移

循環器領域 : バルーンが取引終了*につき減少したものの、PCIガイドワイヤーが好調に推移

• 非循環器領域:代理店取引に伴う四半期バランスの影響により、腹部・脳血管系製品が減少

その他:全般的に好調

• 循環器領域 : アジアを中心に、貫通カテーテル・PCIガイドワイヤーが増加、一部検査用製品の減少*

非循環器領域:アジアを中心に、腹部・末梢血管系製品が増加

【営業利益】売上高の増加に伴い増益

*低収益製品の販売を中止

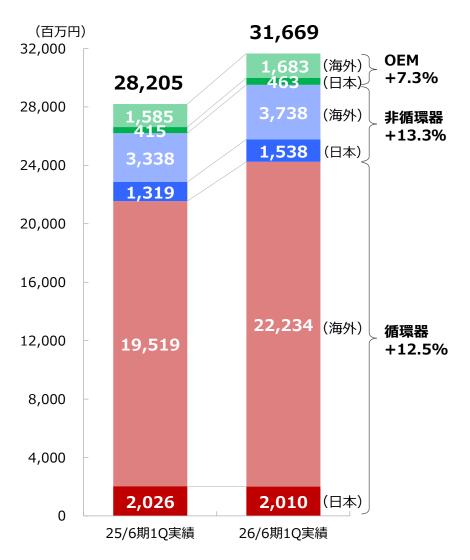


メディカル事業の状況(地域別-2)

		(単位:百万円)	2025年6月期	2026年6月期	前年同	別期比
	(半)正・ロノハリ		1Q実績	1Q実績 	増減額	増減率(%)
		ドル	149.63	147.45	△2.18	△1.5
為	替レート(円)	ユーロ	164.22	172.28	+8.06	+4.9
		中国元	20.84	20.60	△0.24	△1.2
売」	上高合計		28,205	31,669	+3,463	+12.3
	日本		3,762	4,012	+250	+6.7
	海外		24,443	27,656	+3,212	+13.1
	米国		5,445	6,016	+571	+10.5
	欧州		5,716	7,608	+1,891	+33.1
	中国		9,303	9,598	+294	+3.2
	その他		3,978	4,433	+455	+11.4
営業	業利益		10,190	12,504	+2,314	+22.7



メディカル事業の状況 (患部領域別-1)



【売上高(前年同期比)】

循環器

- 日本:貫通カテーテルが増加したものの、検査用製品が減少*し横ばいで推移
- 海外:全地域において増加、欧州代理店取引の前倒し影響を除いても堅調
 - ◆ 米国:PCIガイドワイヤー・貫通カテーテルが増加
 - ▶ 欧州: PCIガイドワイヤー・貫通カテーテルが増加 代理店の要望により1Q出荷が増加 直販地域は堅調に推移 ガイディングカテーテルの減少*
 - ◆ 中国:バルーン取引終了*により減少したものの、PCIガイドワイヤー好調に推移 販売網変更に伴う在庫補充(前倒し)が前期・当期共にあり、当影響を除外 しても堅調に推移
 - ◆ その他:貫通カテーテル・PCIガイドワイヤーが増加、一部検査用製品が減少*

非循環器

- 日本:末梢血管系仕入製品(ペナンブラ社)が好調に推移
- 海外:米国・欧州・その他地域で増加
 - 米国・欧州・その他:主に腹部・末梢血管系製品が増加
 - ▶ 中国:代理店取引に伴う四半期バランスの影響により、腹部・脳血管系製品が減少

OEM

- 日本:取引先動向により増加
- 海外:米国の開発受託取引が増加

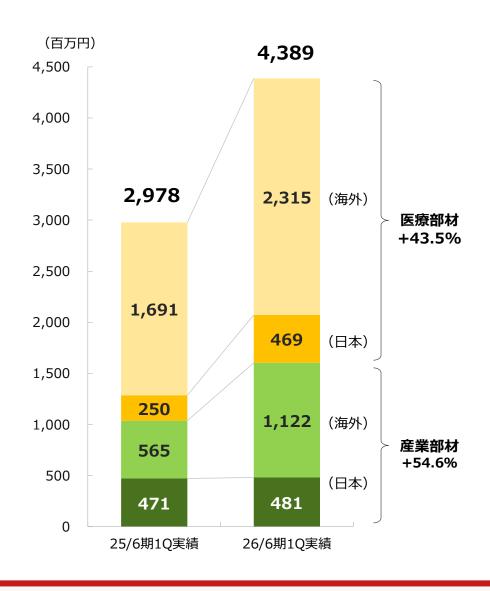
* 低収益製品の販売を中止



メディカル事業の状況 (患部領域別-2)

(単位:百万円)		2025年6月期4万字结	2020年6日期40字续	前年同	別期比
		2025年6月期1Q夫領	2026年6月期1Q夫領	増減額	増減率(%)
1L ++	ドル	149.63 147.45 △2.18 164.22 172.28 +8.06 20.84 20.60 △0.24 28,205 31,669 +3,463 3,762 4,012 +250 24,443 27,656 +3,212 21,546 24,245 +2,699 2,026 2,010 △16 19,519 22,234 +2,715 4,658 5,276 +618 1,319 1,538 +218 3,338 3,738 +400 2,001 2,146 +145 415 463 +47	△1.5		
為替 レート (円)	ユーロ	164.22	172.28	+8.06	+4.9
V 1 (13)	中国元	20.84	20.60	△0.24	△1.2
売上高合計		28,205	31,669	+3,463	+12.3
日本	k	3,762	4,012	+250	+6.7
海外	†	24,443	27,656	+3,212	+13.1
循環器		21,546	24,245	+2,699	+12.5
日本	 	2,026	2,010	△16	△0.8
海外	†	19,519	22,234	+2,715	+13.9
非循環器	2	4,658	5,276	+618	+13.3
日本	 	1,319	1,538	+218	+16.6
海外	†	3,338	3,738	+400	+12.0
OEM		2,001	2,146	+145	+7.3
日本	k	415	463	+47	+11.6
海外	†	1,585	1,683	+97	+6.1

デバイス事業の状況-1



【売上高 (前年同期比)】

〜医療部材・産業部材ともに増加〜 ニッタモールド社の連結子会社化(+723百万円)を除いても好調に推移

医療部材

■ 日本:ニッタモールド社の連結子会社化により増加

■ 海外:米国向け循環器系検査用カテーテル部材の取引が増加

産業部材

■ 日本:ニッタモールド社の連結子会社化による増加があるものの

建築関連の取引が減少し横ばい

■ 海外:レジャー関連の取引が増加

ニッタモールド社の連結子会社化により増加

【営業利益】

外部売上高・セグメント取引の増加により増益



デバイス事業の状況-2

	(単位:百万F	Д)	2025年6月期	2026年6月期	(うちニッタモールド ・ ないままする ユ	前年同	司期比	A 影響除く	前年同期比
	(+12.11/31	1Q実績 1Q実績 1Q実績		│ 社の連結子会社 │ │ 化による増加) A	増減額	増減率(%)	増減額	増減率(%)	
為替レ	/-ト (円)	ドル	149.63	147.45	-	△2.18	△1.5	-	-
売上記	高合計		2,978	4,389	723	+1,410	+47.4	+687	+23.1
	日本		721	951	293	+229	+31.9	△63	△8.8
	海外		2,257	3,437	429	+1,180	+52.3	+751	+33.3
2	医療部材		1,941	2,785	218	+844	+43.5	+626	+32.3
	日本		250	469	208	+219	+87.8	+11	+4.5
	海外		1,691	2,315	9	+624	+36.9	+614	+36.4
產	産業部材		1,037	1,603	505	+566	+54.6	+61	+5.9
	日本		471	481	84	+10	+2.2	△74	△15.8
	海外		565	1,122	420	+556	+98.3	+136	+24.1
営業を	利益		1,351	2,471	86	+1,119	+82.8	1,033	+76.4
(ご参	考)セグメント	卜間売上高	3,896	4,268	_	+372	+9.5	+396	+10.2

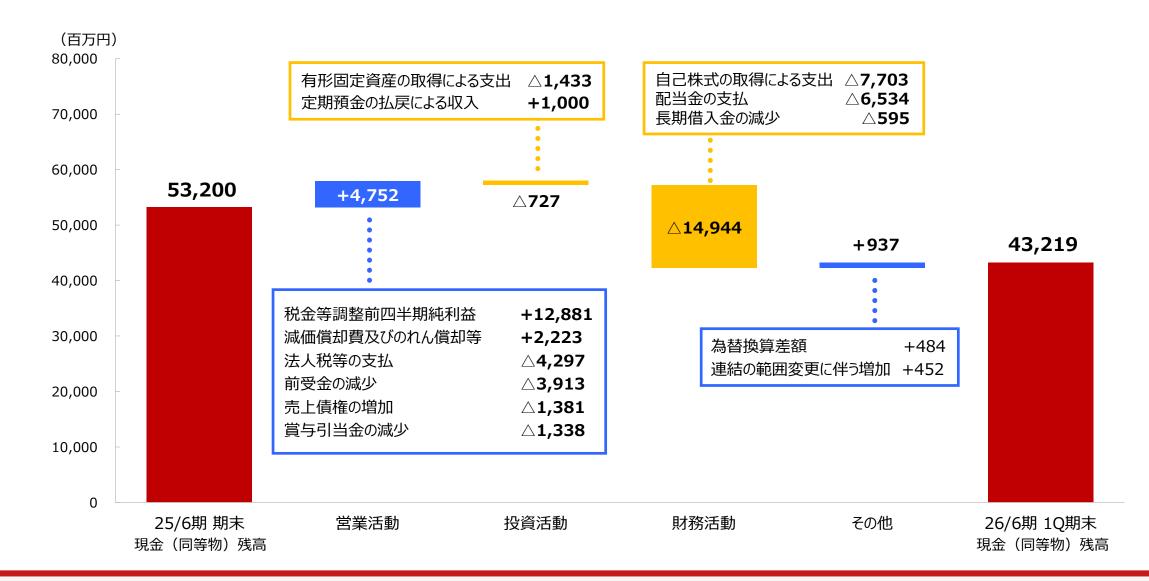
ご参考:損益の状況

	2025年6月其	月 1Q実績			Q実績	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	主な増減要因
売上高	31,184	100.0	36,058	100.0	+4,874	・ メディカル事業/デバイス事業共に好調
売上原価	9,654	31.0	10,621	29.5	+967	
売上総利益	21,529	69.0	25,436	70.5	+3,906	• 売上高の増加及び売上総利益率の上昇
	11,803	37.8	12,401	34.3	+597	・ 営業関係や研究開発費などの増加
営業利益	9,726	31.2	13,035	36.2	+3,309	
営業外収益	205	0.7	164	0.5	△41	
営業外費用	1,164	3.7	312	0.9	△852	• 為替差損の減少
	8,767	28.1	12,887	35.7	+4,119	
特別利益 	123	0.4	-	0.0	△123	• 貸倒引当金戻入額の減少
特別損失	-	0.0	6	0.0	+6	
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,784	21.8	9,205	25.5	+2,420	
四半期包括利益	2,560	8.2	11,795	32.7	+9,234	・為替換算調整勘定の変動

ご参考:財務の状況

		2025年6月	期実績			2026年6月期 1Q第		
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	主な増減要	是因
*/#7 ** **	流動資産	103,359	53.5	93,958	50.8	△9,400	受取手形及び売掛金 現金及び預金	+1,950 △10,981
資産	固定資産	89,827	46.5	90,887	49.2	+1,059	有形固定資産	+1,045
資産合計		193,187	100.0	184,846	100.0	△8,341		
- - - - - -	流動負債	27,856	14.4	21,032	11.4	△6,824	賞与引当金 未払法人税等 その他	△1,307 △1,923 △4,147
負債	固定負債	13,976	7.2	14,872	8.0	+895	繰延税金負債 長期借入金	+1,339 △595
負債合計		41,833	21.7	35,905	19.4	△5,928		
純資産合計	†	151,354	78.3	148,941	80.6	△2,412	利益剰余金 為替換算調整勘定 自己株式	+2,697 +2,189 △7,703
負債•純資産合計		193,187	100.0	184,846	100.0	△8,341		

ご参考:キャッシュ・フローの状況



本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 0561-56-1851 (Direct)
URL https://www.asahi-intecc.co.jp

